

茨城県つくば市立桜南小学校（学校長 栗山 晴久）

実施日	平成19年12月11日（火）	時 間	午前 9 時30分～午後12時20分
実施場所	体育館	対象/人数	1~6 年生 533 名
担当教諭	大神 初枝	ファシリテーター	小林 郁子
講師	バンズグラチ・バヤルツエツク（モンゴル・留学生） 山本・ロブソン・隆（ブラジル・留学生）		

活動内容

- ・共通の話（国旗、あいさつ、お金、民族衣装、雑誌などの紹介）
- ・1・2 学年 遊びについて モンゴルの歌・じゃんけんなどのあそび
- ・3・4 学年 文化の違いについて 食べ物や音楽・スポーツについて
- ・5・6 学年 文化の違いについて 衣食住・自然・気候・スポーツについて

児童の感想

- ・こくさいりかいきょうしつで、わたしはブラジルとモンゴルの学校の話やじゃんけんをおしえてもらって、うれしかったです。
- ・パイラ先生に、しゃしんとおさつを見せてもらいました。あと、ひつじのほねも見せてもらいました。モンゴルのじゃんけんをやりました。わたしは、とてもたのしかったです。
- ・ブラジルの山本先生がきてくれてうれしかったです。ブラジルのこっきは、ほしとかいろいろなものがかいてあって、サッカーもすごいなあとおもいました。サッカーのユニフォームとせばんごうを見せてくれたのがうれしかったです。
- ・モンゴルの先生がモンゴルの曲をきかせてくれました。がっきのしゃしんも見ました。また、先生にいろいろしらないことばをおしえてもらいました。

先生の感想

・つくば市に位置する本校は、国際理解と親善に対する意識が高い地域である。そこで、このワールドキャラバンを異文化交流のよい機会ととらえて参加することにしました。それぞれの学年の発達段階に応じて、外国の文化や生活習慣・自然・環境について知り、二つの国の良さを学ぶことができました。とくに普段 ALT と行っている「英語学習」から離れて、顔は日本人と似ているが、全く異なる考え方を持つモンゴルの先生とブラジルの日系の先生とふれ合うことができ、大変興味深かったです。児童も先生が筑波大学で勉強していることを知り、より身近に感じられたと思います。また、事前にコーディネーターの方と打ち合

わせができ、内容の検討ができたのがよかったです。

成果と課題

- ・本校は筑波大学とも近く、国際教育には関心が高い。今回のワールドキャラバンでの異文化に触れる体験は、児童により刺激とアジアや南米の人々に興味を持つ機会を作ることができ、人権意識を高めることにつながったと思います。
- ・特に3年生以上は、総合的な学習の時間に事前に調べてきたことのまとめとして行うことができました。6年生は社会の「世界の国を知ろう」の学習とも関連しています。1・2年生は外国の遊びやじゃんけんを教えてもらったことが、国語の学習にむずびつくことができ有意義でした。
- ・今後の課題としては、児童が異文化を知り体験ができるような交流会を行い継続していきたいと思います。

